

和方一萬方

十

京

| | | | |
|-------|---|---|---|
| 庫文官政太 | | | |
| | | 三 | 和 |
| | | 二 | 書 |
| | | 〇 | 門 |
| | | 二 | |
| 冊 | 架 | 函 | 號 |

183
閣

| | | | |
|------|-----------|-------|---|
| 內閣文庫 | | | |
| 番號 | 和 | 32012 | |
| 冊數 | 42 (10) | | |
| 函號 | 特 | 103 | 2 |

共四十二

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale

G Y M

© Kodak, 2007 TM: Kodak



和方一、二、兩方、前、細、細、卷、之、九、

和、方、一、二、兩、方、前、細、細、卷、之、九、

和、方、一、二、兩、方、前、細、細、卷、之、九、

和、方、一、二、兩、方、前、細、細、卷、之、九、

和、方、一、二、兩、方、前、細、細、卷、之、九、

和、方、一、二、兩、方、前、細、細、卷、之、九、

和、方、一、二、兩、方、前、細、細、卷、之、九、

和、方、一、二、兩、方、前、細、細、卷、之、九、

和、方、一、二、兩、方、前、細、細、卷、之、九、

和方一萬方前編卷之九

肥後熊本藩疾醫卯井枕輯

七氣部上

壽明散 但七氣共ニ名ナリ銘ナリ

切疵

了力十兩

カワ七兩

ササ四兩

カウ四兩

アラ三兩

カラ四兩

突疵

一本ニ鑢疵ニ作ル鑢ハ和字ナリ今改メテ
鎗疵ニ作ル下皆コレニ倣フ

了力八兩

カワ八兩

ササ四兩

カウ六兩

アラ三兩

カラ四兩

矢疵

アカ十兩

カワ八兩

ササ四兩

カウ七兩

アラ三兩

カラ四兩

打疵

アカ九兩

カワ十兩

ササ四兩

カウ七兩

アラ四兩

カラ四兩

産前

アカ十九兩

カワ六兩

ササ二兩

カウ四兩

アラ三兩

カラ三兩

産後

アカ二十五兩

カワ十二兩

ササ十兩

カウ九兩

アラ三兩

カラ二兩

大血之道

アカ十六兩

カワ七兩

ササ五兩

カウ四兩

アラ五兩

カラ六兩

右六味各粉ミテ一匁春夏ハ冷酒秋冬ハ温酒或ハ塩湯ニテモ調へ用ユ俱下戸ニ

塩湯ヲ用ヒテヨシ

去加ノ方

一頭痛ニハ川芎ヲ加フ

一腹下ルニハカワヲ去リ芍薬ヲ加フ

一腫氣ニハササカワ各一兩ヲ加フ

一熱氣強ニハ烏藥ヲ加フ

一惣身痛ニハ烏ノ黒焼ヲ加ヘカウヲ去ル

一カサホロセニハ烏ノ黒焼ササ各一兩ヲ加フ

一淋病ニハアヲ一兩ヲ加フ

一吐逆ニハササラ去リアカ一兩ヲ加フ

一不食ニハエシメイ皮一兩ヲ加フ但ユヅリ葉ノ木ノ皮ノコトナリ

一振ヒ笑フニハアカ三兩ヲ加フ

一眼不見ニハアカカワ各一兩ヲ加フ

一虫氣ニハ丁子我朮三稜各一兩ヲ加フ

一筋痛ニハアカ一兩ヲ加フ

一大便ニ血下ニハアカササ増テヨシ

一産前ノ吐逆ニ血下スニハササラ去ツテアカ三兩ヲ加フ

一産後前破レタルニハカワササ各一兩ヲ加フ

一産後ニ大便血下リ或ハ血ヲ吐キ鼻血出ルニア

一或カ三兩ヲ加フ

一産後エナ下ラサルニ壽明散一匁ニトウゴマノミ

一産ノ皮ヲ去リ十五粒ソクイノコトク押ツブシ油ヲ

一産取リ黒藥ニラシマセ麩ノリヲ湯ニテトキカスラ

一産去リヨキ酒少加ヘ其湯ニテ用エシ

一産枕カ家吉益流金瘡秘傳一卷ト云

一不食ノ症ニ書ラ藏スソノ内此壽明散七氣血

一産後ハニリノ方アリ又別ニ同流ノ書アリ少

ノ異同アリ右ノ方ヲ正トス又小篠

流ノ書トアリテ又此方ヲ載ス下ニ

レラ記ス

又方 但七氣共ニ

切疵

アカ十兩 カワ七兩

カウ七兩 アラ三兩

鑽疵

アカ八兩 カワ八兩

ササ四兩

ササ四兩

カラ四兩

矢疵

アカ十一兩 カワ八兩

ササ四兩

カウ七兩 アラ三兩

カラ四兩

打疵

アカ九兩 カワ十兩

ササ四兩

カウ七兩 アラ三兩

カラ四兩

産前

アカ九兩 カワ六兩

ササ二兩

カウ四兩 アラ二兩

カラ三兩

産後

アカ九兩 カワ六兩

ササ二兩

カウ四兩 アラ二兩

カラ三兩

大血道

アカ十六兩 カワ七兩

ササ五兩

カウ四兩 アラ五兩

カラ六兩

去加ノ方

一腹下ニカワヲ引

一腫氣ニカウヲ去リ烏ノ黒焼ヲ加フ

一風疹出ニハカウササ各一兩ヲ加フ

一熱氣甚シキニハ烏ノ黒焼ヲ加フ

一淋病ノ時ハアラ一兩ヲ加フ

一脱肛ニアラカラ各一兩ヲ加フ

一吐逆ニアカ一兩ヲ加フササラ去ル

一角弓及張ニ乾薑白朮上茶ノ末大黃ハラヤ

少焙リテ梅干ノ實バカリ各一兩ヲ加ヘ酒

テ用ユヘシ

一頭痛ニカワ中ヲ加フ

一虫出ニハ丁子我朮三稜各等寸分粉ニシテ加フ

一上焦ノ疝ニハ鞠粉ニシテ茶一服程加フ

一中焦ノ疝ニハ桔梗粉ニシテ加フ

一下焦ノ疝ニハ楨榔子粉ニシテ加フ

一左ノ疝ニハ柴胡粉ニシテ加フ

一右ノ疝ニハ升麻粉ニシテ加フ

一不食ニハ延明皮粉ニシテ加フ

批按ルニ五方ノ分量ヲ脱ス

一振ルノ同咳ニアカ一兩加フ七氣共ニ

一 目不見ニハアカカワ各一兩ヲ加フ

一 筋ノ痛ニハアカ一兩ヲ加フ

一 産前ニ産後

一 産前ニ血下吐逆ニハアカ一兩加フササラ去ル

一 産後前陰破ニハカワササ各一兩ヲ加フ

一 産ノ時ヨリ不覺小便出ルヲアリ少腹ニ針ヲ

立青木葉ヲ付内ヘモ粉ミシテ入レ同處灸ニ

一 内藥用ユヘシ灸處ハ一ノキサニ下五分カ

ケテハキヨシ但兩方用ユヘシ

本書用ユヘシトハ灸スヘシナレヘシ枕按ニ

内藥トハ壽明散ノ方ナレヘシ

一 産後ニ古血下ラサルニハアカササ各一兩ヲ加フ

一 産後ニ虫病ニハ我朮延明皮各等分加ヘ塩湯

又酒ニテモ用ユヘシ

一 産後咳又ソルヲアラハアカ三兩ヲ加フ

一 産後不食セハ延明皮右ノ如ク用ユヘシ

一 産後物亂ルヲアリアカ二兩加フヘシ

一 産後大便ヨリ血下ニハアカ二兩加ヘ酒ニテ切々用ユ

吐血萬血出ルニ共ニ此加減尤良

一産後胞衣又後ノモノ下ラサルニ血縛ニトウゴ

一或ト右ノ黒藥押交伊勢力麩ノリラアツ湯ニテ

一産トキ布ニテコシ酒ヲ温メテ用ユヘシ三包ニスク

ヘカラス

一四季ノ加減コトハ加減ニテハナシ加ユルノ方ナリ

一春ハ白物ルヨクス夏ハ大黃

秋ハ黒猫黒燒冬ハ茯苓

一夏ノ土用加味烏ノ黒燒

一八專ニハ土龍ノ黒燒ヲ入ルヘシ

枕按ルニ二方共ニ分量ヲ脱ス

壽明散煎藥ノ時ハ銘命金仙ト云

一本ニ七氣血縛銘ノ事煎藥ノ時ハ

命金仙トウツナリ粉藥ノ時ハ壽明

散ト書ナリトアリ

又一本ニ切痲ハ一兩鎗痲ハ二兩矢痲ハ

二兩打痲ハ一兩但其人ノ可依氣分ナ

リ口傳トアリ

藥性并拵へ様ノ事

アカ

コレニ色アリ赤ハ女ニ用ヒテヨシ青ハ男ニ用ユ煎

藥ノ時ハ莖ヲ酒ニ浸シトリアケ日ニ乾シテ坐

ミツク焙ル

枕按ルニ一本ニ直久土用ニ取陰乾シテ

黒焼シ煎藥ノ時ハ葉氏ニ酒ニ浸ス

一夜炒用ユアカトハアカサノ略ナリ藜

ナリ青キヲ藜ト云ヒ赤キ心ハ葉ホア

ルヲ雀頂ハ米ト云又丸ハノモノアリ又
海濱ニ生スルモノアリ葉ニ塩ケアリ金
瘡秘本ニ耕ノ字ニ作ル赤サリ

カワ

ヒケト露頂トラ去リ同ク上皮ヲ去ル竹刀ニテ削

白水ニ二夜三日浸シ少シ火ニカケテ細末ニシテ

用ユヘシ但煎藥ノ時ハアラクト粉ニス

枕按ルニ一本ニ寒ノ内ニトリ土氣ヲ能

洗ヒヒケガンギヲ竹刀ニテ去リ五三日

水ニ浸シヨク洗ヒ乾シ竹刀ニテ剉ミ炒
リ用ユカワハ川ノ字ナリ川骨ナリ川
骨トハ和名ナリカワホ子ナリ乃チ萍
蓬根ナリ秘本骨ノ字ニ作ルカワホ子
ヲコウホ子ト訓ス非ナリカワホ子ナリ

ササ

大角豆赤白共ニ同シ皮ヲ去リ炒テ粉ニテ用ユ
但煎藥ノ時ハ酒ニ浸シ剉ミ炒ル

枕按ル一本ニ大角豆其マ石春ニテ

引キヨク末ニストアリ大角豆ハササケ
ナリ乃チ十八疋豆ナリササケニ大小ナ
赤黒アリ又白アリ物ヲササケタル如クニ
ミノル故ニコレヲササケト云ササキト云訛
ナリ十八疋豆ハ小疋豆ノ如クササケテハ
ミノラス蔓草ニテ長クカヅラヲ引ク
實必十八粒ツアリ故ニ十八疋豆ト云
別ニ品類多ク十八ツアルモノヲ取ルヘ
シ秘本ニ觥ノ字ニ作ル又觥ノ字ニ毛作

我 汎 長 フロウ ト云

カウ

沉香黒焼但煎薬ノ時ハ如常劉ニ用ス

枕按ル一本ニイカミク上上ヲ用ヘ

但黒ヲ煎薬ノ時ハ常ノ如クアラクト

末ニス 秘本ニ稊ノ字ニ作ル稊ニ作ルハ

誤ナリノ示ノ字ニテネニ从フヘカラス禾

ニ从フヘシ香ノ字ノ上ノ禾ナリ晁ハコレシ

ノ三水ヲ去リテ香ノ字ノ曰ラ上ニ沈ノ

字ノ欠ヲ下ニス

アラ

アラ黒焼煎薬ノ時ハ骨ヲ酒ニ浸シ劉ニ炒

枕按ルニタウインニハ一番ノウヲト云太

公望カ云煎薬ノ時ハ骨ヲ酒ニ浸シ

日ニ干シ粉ニスヘシ萬外集ニモ此説アリ

ニ説トモニ無稽ノ言ニテ取ルニ足ラス何

ト云イワレヲ知ラス然レ氏枕私竊ニコレ

ヲ按ルニ唐ニテ一番ノ魚ト云フトモトヨ

リアルヘカラス又唐音ニテ一番魚ノ
音モアルヘカラス當時ノ醫人コノ魚ヲ
中華ノ人ニミセシニ一番魚ト
云通辨ニタルヲソノ立日ナト思ヒチカヘ
テ一番魚ナト聞キ謬リ傳ヘテ訛
タルモノナレヘ又太公望云ト云フ四字モ
當時アラノ魚ノ異名モソノイワレアリテ
太公望ト名ケタルトモアルヤ此阿羅ノ
魚ニ太公望ト云ト書シテ傳寫ノ誤

リニテ太公望カ云クト書キタルナレヘ
一笑ヲ發スルニ足レリ秘本ニ黽黽作
ルソノ故ヲ解セス

カラ

アラニ同シ

枇杷ル一本ニ日本ニテハカラサケト名
ク人ノ知ラサル藥ナリ黒ニテ用ユヘシ
但し煎藥ノ時ハ是モ酒ニ浸シ日ニ干シ
剉ニ用ユヘシ常ノ燒ヤウニカワリ土釜

ノロニ穴ヲアケテ細々烟ヲ見ワケ烟
立ち止々時取り上ク口傳トアリ秘本
ニ桂ノ字ニ作ルコトハ干鮭ナリ魚ノ片
旁カラ去リテ干タル圭ト云フナリ

黒燒ノ法ハ本書ニアリ

藥性代藥ノ事

一アカサ代藥ニ古セ麻ヲ用ユヘキナリアカサハ血ヲ
温メ氣ヲ下シ血不順ヲ調ヘ筋ヲタニス氣ノ遠
クナルヲ止メ血ヲ在處ヘラサメ上氣ヲサクル氣ノ

滯ヲ順ニシ血ヲ納メテヨシ惡血ヲ去リ筋ヲ
強クス食ヲ進メ手足ヲ強クシテ血順ニテ
リテヨシ

一ササケハ大便ノ結スルヲ下シ血熱ヲサマズ惡血ヲ下
シ胸ヘ血ノ注落チタル時本目ヨリ多ク入レテヨシ
惡血ヲ下スモノナリササケハ虫ニアタルコトアリ
其時ハ火ヲ入テヨシ猶ヲモ虫強クハササケハ
皆引キテ用ユヘシ

一ニライ代藥ニハ木香用ユヘシ氣ヲ冷シテ血ヲ

一 順ニシ氣血共ニ調ハス氣遠クナルニヨシ疵
口痛ニヨシ熱氣ニヨシ疵臭キニヨシ虫ワクニ
ヨシ疵ヒリメクニヨシ吐逆ニヨシ

一 アラ血ヲ破リ痛所ヘ引ク藥ハ血ノ道ヲ引筋
骨ノ痛ヲ止メ藥ヲ惣身ヘ道寸ク良藥ナ

一 カラ氣ヲ張血ヲ破リ痛所ヘ引藥氣ト血ト

藥トヲ道寸ク良藥ナリ

右ハ吉益流セ氣ノ方ニテ金瘡秘傳卷

トテ久シク余カ家ニ傳リタル書ニ三部
リ今互ニ考定ニテ誤ヲ正スル如此柰識

入七氣部

黒神散

薬銘

産前二生湯

産後養榮湯

手負正榮湯

切疵

アカ十二反

カワ九反

アラ八反

カラ四反

ササ三反

カウ六反

人參七反

栝樓根一反

甘草少

牡蠣少

突疔

アカハ丸

アラ一丸

カラ四丸

カワ七丸

ササ十丸

活五丸

倭少

甘草少

牡蠣少

打身

アカ十丸

カワ九丸

ササ十二丸

アラ六丸

カラ五丸

栝樓根十二丸

人參一丸

カウ少

牡蠣少

矢疔

アカ十丸

アラ六丸

ササ八丸

カラ五丸

人參一丸

栝樓根八丸

カウ少

牡蠣少

産前

アカ十五丸

カワ十丸

アラ六丸

カラ七丸

ササ五丸

桂枝少

人參少

産後

アカ十二丸 人參一丸

カラ六丸 甘草五丸

當歸一丸 地黄一丸

大血道

アカ十二丸 カワ九丸

人參一丸 カラ一丸

當歸一丸 芍藥一丸

黃連一丸 川芎一丸

カウツ 牡蠣少

アヲ五丸

黃連一丸

芍藥一丸

アヲ四丸

甘草二丸

麥門冬一丸

桔樓根五丸

甘草少

一知徳加味

一物身ウヅクニハカワカウ入レス

一熱氣アラハカウヲ加フ

一腹下ニハカワヲ引

一産後又ハ手負血道何レモ振フトアリ又ソツ

一藥口ウコトアリアカラ加フ

一カミノ疵ニハ川芎ヲ加フ

一胸ノ疵ニハ桔梗ヲ加フ

一下ノ疵ニハ楨榔ヲ加フ

一老ノ疝ニ柴胡ヲ加フ

一右ノ疝ニ升麻ヲ加フ

一古血下ル事アレバアラカラ紅花大黃少加フ

一藥返ニ白梅陰干ニテ用ユ

一腹下ニ粉藥飯ノトリ湯ニテ用ユ

一頭痛ニ川芎ヲ加フ

一腹ニボル心アヒカワササヲ去ツテ枳榔芍藥ヲ

加フ

一吐逆ニササヲ本味ノ内ヨリ引

一大便結セバ枳榔枳殼少加フ

一咽カワカバ麥門冬ヲ加フ

一不食スルニ延明皮莪朮本味ニ加フ

一胸ニ血ノ落タル時フルセ麻マコモノ根小麥ノカラタ

ツノ若葉各霜大黃各等分合ニテ本味ニ加

ヘテヨシ

一産後ニ後ノ物ヲリスバトウゴテヲ能油ヲ取リ粉

ニシテ本味ニ包ニ二粒ホト加ヘ藥湯ノ加減ヲ

トアツクノ腹ニミミワタルホドニシテ用ユヘシ

一産後ニ子宮冷虫起ニ我朮丁子二味煎シテ

一カモ粉薬ニシテモ本味ニ加フヘニ藥影ノ味加フ

一脱肛ニアラカラ本味ニ又加フ

一淋病ニアラカラササ加フ

一ツワリツヨク煩フニハカワヲ大血道ノ方ヘ加ヘ又ア

一開カラモ加ヘ水ニテモ亦湯ニテモ用ユ上戸ハ酒ニテ

一服用ユ

一カサホロシニハアカササニ味ヲ加フ

一穴頭

又方

切疵

アカニ多ニ銖 カワ一多ニ銖 ササ一多

カウ一多ニ銖 アラニ多ニ銖 カラ一多

突疵

アカニ多 カワニ多 ササ一多

カウ一多ニ銖 カラ一多

打身

アカニ多ニ銖 カワニ多ニ銖 ササ一多

カウ一匁三銖

アラ一匁一銖

カラ一匁

産前

アカニ匁一銖

カワ一匁二銖

ササニ銖

カウ一匁

アラ三銖

カラニ銖

産後

アカ六匁

カワ三銖

ササニ匁一銖

カウニ匁一銖

カラ三銖

大血

アカ四匁

カワニ匁

ササ一匁二銖

カウ一匁二銖

アラ一匁

カラニ匁二銖

一疵強クウツク時ハ息ノタマコツテ其儘付ルタマ

コナキ時ハ魚テホシタルモ粉ニテ疵口ニ捻カク

ヘシ但シ髪ノ油ニテ子ヤシタルカヨシ

一手負産前産後ニシル時木似ヲ本味ニ加フ

一癰疔後養性薬ニハ山歸來ニフシノ粉ヲ加ヘ煎

一マシテ用ユ

枳按ルニコレハ此粉薬ヲコノ煎ニ汁ニテ

用ユルナリ

一小便澁ニ木通カワササ加フ

藥種拵様ノ事

一アカニ色アリ赤ハ廿青ハ男煎藥ノ時ハクキラ

一酒ニ付剉ミアブリ用ユ散藥ノ時ハ黒燒ミテ

一酒ニテケシ粉ミテ用ユ

一カワ皮ヲ去ツテ剉ミテ二夜三日白水ニツケ其

後酒ニ付ホシテ剉ミ用ユ散藥ノ時ハ夕粉ミ

テ用ユ

一ササ酒ニ付皮ヲ去リ剉ミアブリ用ユ散藥ノ時ハ

夕粉ミテ用ユ

一アラ酒ニ付アブリ用ユ散藥ノ時ハ黒燒ミテ用

一カラ同前

藥性論

一アカ血ヲ温補フ氣ヲ下シ血迷ハス經ヲ調フ筋

ヲタニス

一カワ氣ヲ下シ氣ノ亂ヲ調フ頭痛ヲ止メ上氣ヲ

下シ氣ノ滯ヲ回ラス

一ササ大便ノ結ヲ下シ血熱ヲ發シ瘀血ヲ散シ吐

一カウ逆アシ、カウ血熱、カウ血熱、カウ血熱、カウ血熱、カウ血熱

一アラ血ヲ破リ痛ム所ニ引血ヲ道寸キ引

一カウ血ヲ冷シ血ヲ廻ラス榮衛共ニ迷ハス氣ヲ調

ヘ遠クナルヨシ疵口痛ムニアシ、熱氣甚シキ

一ア、ニヨシ疵ノクサキニヨシ、血熱ハ、熱ク、熱ク、熱ク

一カラ氣ヲ強クシ血ヲ破ル痛ム所ニ引氣ヲ導

一カキ引

一カキ引 枕按ル此本ニアカサヲ赤ノ字トナシ

一カキ引 アラヲヲ猿トナシササケヲ蛇トナシカラヲ

一カキ引 糖トナシ沉香ヲ僭トナシ人參ヲ鈇

字トナス

一カキ引 以上金瘡小竹條流トアリテ余カ家ニ

一カキ引 二部ノ書ヲ藏ス大抵吉益流ト少シ

一カキ引 異ニ大ニ同トイヘ氏近來ソノ家ノ人ノ

一カキ引 妄添モアリト見ユ初ノ七方ミナ近醫

一カキ引 ノ去加ノ方ニテ純一ナラス次ノ一方ハタ、

一カキ引 分量ノ異同アルノミ互ニ照例ニテソノ

一カキ引 正ヲ取ルヘシ

又方

前方

アカ二両二分

ササ一両

カワ一両三分

カウ一両三分

アラ三分

カラ一両

突疔

アカ二両

ササ一両

カワ一両

カウ一両二分

アラ一両二分

カラ一両

矢疔

アカ一両三分

ササ一両

カワ二両

カウ一両三分

アラ三分

カラ一両

打疔

アカ二両一分

ササ二両

カワ一両二分

カウ一両

アラ三分

カラ二分

産前

アカ二両一分

ササ二両

カワ一両二分

カウ一両

アラ三分

カラ二分

産後

アカ六両

ササ二両一分

カワ三両

カウニ兩二分 アラ三分 カラ一兩

大血道

アカ六兩 ササニ兩一分 カワ三兩
カウニ兩二分 アラ三分 カラ三分

七氣諸勤辨

一春ハ世相ノミトリヲカゲホシニテ上皮ヲムキテ
末ニシテ少加フ
一夏ハハシブトノ鳥黒焼ニシテ少加フ鳥ノヤキヤヲ
巴豆七粒人參少シロニグワエサセテヤクナリ

一血ハ四季ノ土用ノ内ハ輕粉少加フ

一秋ハ芍薬ヲ加フ

一冬ハ白茯苓末ニシテ加フ

一八專ノ内ハ土龍ノ黒焼少加フ

一虫氣ニテ薬ヲ吐スル者ハ丁子木香末ニシテ加フ

一手負腰ハリ痲痛ニ防風少加フ

一頭ノ痲ニハ大黃大川芎少加フ

一大痲血不止ニハ痲ノ口ヲ其下ニテキテ松ノミトリヲ

二兩ハカリ加フ

一ソリノ心アラバアカ一両乾薑少加フ

一大事ノ疝亦産前後ニ腹ヲ下ス者ニハジントソ

草ニミソハキ石榴皮此三色等分ニシテ甘草

少加フ

一腹ニ色ツカハケシノカラヲ煎シ酒等分入テ藥ヲ與

フ大事ノ腹中ニ酒ヲヒカエヨ

一手ア貝サムカリ咽カハキセキ出バアラカラ大黃各

一兩加フヘシ

一血トイラスハ猫ノ頭人參少加フ

一血不止ハ青シトハノ黒ヤキ三分加フ

一前カ疝ニカイコノヒウリヲカケホシニシテ加フ

此下洗ヒ藥ノコトアリ今コレヲ略ス

一咳逆ニハカワ三分加フ

一腫氣ニハササカワ一兩ツ、加フ

一惣身痛ニハカウヲ去リ

一熱氣アルニハカウ一兩加フ

一風ホロセ出ルニハカウササ一兩ツ、加フ

一淋病ニハアラ一兩加フ

一サムカリフルウモノニハカラ一両加フ

一吐逆アラハアラ一両ササ一兩二分本味ノ内ヲ引

ヘシアカラ一兩倍ス

一産後ニ前損シタルモノニハササカワ一兩ツ、本味ノ

内ニ加フ

一産後ニ古血不下ニハササアカ一兩ツ、加フ後ノ物

不下ニハ唐ゴトノ油トリテ加ヘ亦不入モヨシ

一同寒熱アリフルイ狂亂スルモノニハアカ一兩加フ

一産後不食ニハ楊梅皮加フ同物ニ狂ニハアカニ

兩三兩モ加ヘ大便ヨリ血下ラハアカ三兩ヲ

加フ

七氣藥性拵様口傳

アカサクロヤキ酒ヲソ、キテケシテヨシ煎藥ニハ

酒ニテ洗ヒキサミホシテ用ユルナリ

カウホ子ケヅリムクナリヒゲヲ去リ子バリ皮ヲ

コソケ白水ニ二夜三日ヒタシ取アケテ能目ニ

ホシテ亦一夜酒ニツケテ其後少し日ニホシテ

粉ニシテ用ユルナリ

ササキ十ハノサヤ赤キヨシツブノ皮ヲムキ其下

ツカウ亦酒ニ一夜ツケテツキ合セ神麥ノコ

トクコレラヘテ後キサミ用ユナリ

ニライクロヤキ沉香イカニモシルイテ香ノコキ

ヲ用ユナリ代藥ニ川芎ノ木香ヲ用ユ

アラクロヤキ唐ニ一番ノ魚ト云日本ニテハアラ

トナツク太公望云骨ヲ酒ニヒタシテ粉ニシテ

用ユナリ

カラクロヤキ唐ニ二米魚ト云日本ノカラサケ

味ハコトナリ酒ニヒタシテ粉ニシテ用ユ

太公望ノ辨前ニアリ

七氣ニ云時ハキリンケツラヘル血道ナトニヨシ

但血不止ニ加フ其外不入痴ライヤス時カラ

アラノニ味ヲ引ナリ亦吞汁ニカラサケノユテ

汁ニ酒ヲ合セテスルヨシイエキハニ不用銘ノウチ

ヤウ命仙散鉄氣白鳥散ニ書ナリ

和方一志之八行編
九終

